

<p>研究課題名</p> <p>緩和ケア治療のみが行われたEGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者におけるEGFR遺伝子変異の意義の検討</p>
<p>研究責任者名 国立病院機構東広島医療センター 呼吸器内科医師 西村 好史</p>
<p>研究期間 承認日 ～ 西暦 2022 年 3 月 31 日（解析期間等含む）</p>
<p>対象者は以下の全てを満たす患者さんです。</p> <p>(1) 選定期間 西暦 1991 年 4 月 1 日 ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日</p> <p>(2) 選定基準</p> <p>広島大学病院又は東広島医療センターを受診する外来及び入院の成人患者さんの内、下記の全てを満たす患者さん</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病理学的に非小細胞癌の診断が得られている患者さん</li> <li>2. 非小細胞肺癌に対して根治的外科切除術が不能な患者さん</li> </ol>
<p>意義・目的</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 近年の肺癌治療を受けた患者さんと治療を受けなかった患者さんの予後を比較すること</li> <li>② EGFR 遺伝子変異の存在が無治療の場合に生存期間に対して予後因子になるかどうかを検討すること</li> <li>③ EGFR-TKI単独療法または無治療だった場合のEGFR遺伝子変異陽性患者さんの生存期間を比較すること</li> </ol> <p>上記は、検討された研究は存在せず、本研究の実施には意義があるものと考えられます。</p>
<p>方法</p> <p>本研究は、診療録（カルテ）と腫瘍由来のDNA検体から得られた臨床データを利用して研究を行います。臨床データとしては以下を使わせていただき、それぞれの関連を検討させていただきます。個人を特定可能な情報は解析に用いません。</p> <p>組織型、年齢、性別、病期、生存期間、パフォーマンスステータス、喫煙歴 EGFR 遺伝子変異の有無</p>
<p>代表研究機関 広島大学病院呼吸器内科 教授 服部 登</p>
<p>個人情報の保護について</p> <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に臨床データや試料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p> <p>診療録と腫瘍由来 DNA 検体から得られた臨床データの管理責任者： 広島大学病院呼吸器内科 教授 服部 登</p>
<p>問合せ・苦情等の窓口</p> <p>〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家 513 T e l : 082-423-2176 国立病院機構東広島医療センター 呼吸器内科医師 西村 好史</p>